

## 目次

### 論文

「根源的二者」再考 …………… 飯田明日美 …………… 5

——芸術的遊戯としての「根源Ⅱ」へ——

ニーチェによる「良心の疚しさ」の再評価 …………… 梅田孝太 …………… 24

——『道徳の系譜』第二論文の構造についての一考察——

『曙光』の思想圏に見出されるニーチェの哲学的課題 …………… 大山真樹 …………… 44

——価値形成のメカニズムとしての残虐性と復讐の発現——

### 研究ノート

『悲劇の誕生』における「美的学問」 …………… 荒木和明 …………… 64

ニーチェによる生の本質規定の端緒としての「自己保存」概念

…………… 加藤之敬 …………… 83

ニーチェ 『人間的、あまりに人間的』における歴史的哲学

…………… 谷山弘太 …………… 103

翻訳

ニーチェの真理批判 …………… ケン・ジームズ／訳 竹内綱史 …………… 123

研究動向報告

フェミニズムの先駆的思想としてのニーチェ哲学 …………… 生島弘子 …………… 164

ショーペンハウアーニーチェ美学の連続性 …………… 五郎丸仁美 …………… 175

——アリソン・H・デンハム「諧和、超越、変容…ニーチェによるショーペンハウアー美的心理学の受容」——

ドイツにおける近年のニーチェ研究動向について …………… 竹内綱史 …………… 188